

愛知・名城大付属高校・

早川孝則先生

前回は、新聞からたくさん
の仕事に出合いました。
憧れを抱いた仕事はありま
したか？ 次は、皆さんが
活躍する十年後の日本社会
について、新聞を通して考
えましょう。



10年後の日本社会は？

考えることが大切です。図書館には、新聞各紙の過去の紙面をまとめた縮刷版があります。十年前の二〇〇八年の記事から、現在の出来事の引き金になっている事柄を探しましょう。

例えば、私が受け持った生徒たちは「ブラック企業」や「航空会社の客室乗務員に外国人を採用」といった記事を見つけました。今度はその記事をヒントに、根拠のある十年後の社会を現在の新聞から予測。「働き方改革で、AIや外国人に労働力を頼らざるを得なくなる」、「性別や国籍にとらわれず多様性を認める」などが考えられますね。

クラス単位で実践できるのであれば、教育や環境などの分野別に、予想してみるのも面白いと思います。

新聞で未来予測 ④

十年後といっても、妄想では意味がありません。人工知能（AI）が普及し、今ある職業の四割はなくなるともいわれています。時代を踏まえ、自分の仕事を